



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 織田 晃敏
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6538-7719

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	20,605	2.0	252		285		280	
2019年3月期第1四半期	21,019	6.3	266		260		181	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 337百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 229百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	22.42	
2019年3月期第1四半期	14.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	128,907	58,365	44.5
2019年3月期	136,469	58,867	42.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 57,368百万円 2019年3月期 58,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	0.2	0	100.0	0	100.0	100		7.98
通期	108,000	0.7	3,000	0.1	3,000	6.3	2,200	6.0	175.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,398,490 株	2019年3月期	13,398,490 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	863,101 株	2019年3月期	865,951 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,533,463 株	2019年3月期1Q	12,527,507 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(2020年3月期1Q 36,116株、2019年3月期1Q 41,970株、2019年3月期39,043株)が含まれています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策などを背景に、雇用・所得環境の改善などで緩やかな回復基調が続いているものの、長期化する米国、中国との貿易摩擦、英国のEU離脱問題など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、「産業建設資材事業」「パイプシステム事業」で出荷が増加したものの「機械システム事業」で出荷が減少したことにより、売上高は前第1四半期連結累計期間比414百万円減収の20,605百万円となりました。

損益面では、「機械システム事業」における減収の影響などがあったものの、「産業建設資材事業」「パイプシステム事業」で改善し、営業損益は、前第1四半期連結累計期間比14百万円増益の252百万円の損失、経常損益は、前第1四半期連結累計期間比24百万円減益の285百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、特別損失として台風被害による復旧費を前年に引き続き計上したことにより、前第1四半期連結累計期間比99百万円減益の280百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量は前年並みであったものの、価格改定が浸透しつつあり売上高を押し上げたことに加え、バルブ部門でも、前年が低調であった海外向け案件の出荷が回復基調にあることなどで、前第1四半期連結累計期間比21百万円増収の9,710百万円となりました。

営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、価格改定の影響などにより、前第1四半期連結累計期間比113百万円増益の217百万円の損失となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で大型物件の出荷が第2四半期以降に延期になったことなどで、前第1四半期連結累計期間比1,070百万円減収の3,912百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門の減収の影響などで、前第1四半期連結累計期間比84百万円減益の85百万円の損失となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門で空調製品の出荷が堅調に推移したことなどで、前第1四半期連結累計期間比634百万円増収の6,982百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第1四半期連結累計期間比50百万円増益の111百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、翌四半期以降の出荷に備え、商品及び製品、仕掛品などが増加した反面、債権の回収時期を迎え受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少したことで、前連結会計年度末比7,562百万円減少の128,907百万円となりました。

一方、負債におきましては、生産が一段落し、債務の支払時期を迎え支払手形及び買掛金が減少したことに加え、債権の回収増加により、短期借入金を返済したことで、前連結会計年度末比7,059百万円減少の70,542百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末比502百万円減少の58,365百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,564	21,143
受取手形及び売掛金	39,297	29,224
電子記録債権	7,047	5,320
商品及び製品	9,346	11,272
仕掛品	6,682	8,781
原材料及び貯蔵品	2,625	2,663
その他	1,347	1,229
貸倒引当金	△137	△93
流動資産合計	87,774	79,543
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,773	13,773
その他(純額)	17,348	17,863
有形固定資産合計	31,121	31,636
無形固定資産		
その他	745	887
無形固定資産合計	745	887
投資その他の資産		
投資有価証券	10,328	10,216
その他	6,678	6,798
貸倒引当金	△178	△175
投資その他の資産合計	16,828	16,840
固定資産合計	48,695	49,364
資産合計	136,469	128,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,629	18,213
電子記録債務	13,288	12,544
短期借入金	20,255	15,793
1年内返済予定の長期借入金	2,111	2,108
未払法人税等	510	156
引当金	1,956	1,097
その他	6,576	8,054
流動負債合計	64,328	57,968
固定負債		
長期借入金	2,881	2,070
引当金	110	96
退職給付に係る負債	9,482	9,620
その他	799	785
固定負債合計	13,274	12,573
負債合計	77,602	70,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,880	6,870
利益剰余金	21,178	20,519
自己株式	△1,750	△1,745
株主資本合計	57,493	56,830
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,013	1,905
為替換算調整勘定	5	4
退職給付に係る調整累計額	△1,442	△1,371
その他の包括利益累計額合計	576	538
非支配株主持分	797	996
純資産合計	58,867	58,365
負債純資産合計	136,469	128,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	21,019	20,605
売上原価	16,144	15,689
売上総利益	4,875	4,916
販売費及び一般管理費	5,141	5,168
営業損失(△)	△266	△252
営業外収益		
受取配当金	43	31
その他	82	56
営業外収益合計	126	87
営業外費用		
支払利息	43	34
その他	77	86
営業外費用合計	120	121
経常損失(△)	△260	△285
特別利益		
債務免除益	42	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
災害による損失	—	64
その他	0	1
特別損失合計	0	66
税金等調整前四半期純損失(△)	△218	△352
法人税、住民税及び事業税	159	105
法人税等調整額	△209	△157
法人税等合計	△49	△52
四半期純損失(△)	△169	△300
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△19
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△181	△280

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△169	△300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	△107
為替換算調整勘定	△42	△0
退職給付に係る調整額	98	70
その他の包括利益合計	△60	△37
四半期包括利益	△229	△337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△241	△318
非支配株主に係る四半期包括利益	12	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,689	4,982	6,347	21,019	—	21,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	0	22	59	△59	—
計	9,726	4,983	6,370	21,079	△59	21,019
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△330	△1	61	△270	4	△266

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額4百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額△60百万円及びたな卸資産の調整額61百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプシス テム事業	機械シス テム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,710	3,912	6,982	20,605	—	20,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	0	22	60	△60	—
計	9,747	3,912	7,005	20,665	△60	20,605
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△217	△85	111	△190	△61	△252

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△61百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントが負担する販売管理費、一般管理費、試験研究費の配分差額△97百万円及びたな卸資産の調整額28百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。